

九州のなかま

2008 - 25

平和特集: NO. 1

発行日 : 2009年6月23日(火)

発行者 : 生協労連 九州地連

多いに学びました！“生協労連第15回沖縄基地・戦跡めぐり”

「生協労連第15回沖縄基地・戦跡めぐり」は、81人(コープおきなわのなかまは除く)の参加者で6月19日(金)~21日(日)にかけて開催されました。九州からはエフコープ14人、おおいた5人、ララコープ1人、みやざき6人、かごしま3人が参加。平和について学び、考えさせられた3日間でした。

6月19日(金) 南部戦跡コース：沖縄戦を追体験

平和祈念資料館・平和の礎・韓国人慰霊塔 糸数壕(アブチラガマ)

真っ暗なガマの中は、兵器庫、病棟、軍医室、治療室、死体置き場、食料・衣服倉庫、住民避難場所、井戸、カマドなど...全長270メートルのガマは沖縄戦の実相を現在に伝える貴重な戦跡です。ガマは当初、住民の避難場所でしたが、日本軍の作戦陣地や野戦病院としても使用され、戦争が激しくなると軍民同居の場となり米軍の攻撃を受け、多くの命が失われました。



韓国人慰霊の塔



平和の礎



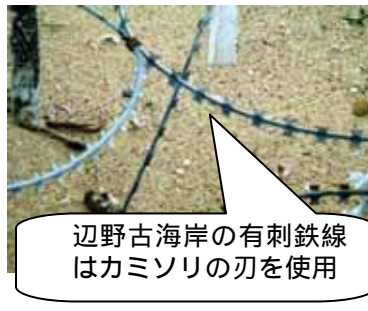
熱心に説明に聞き入る参加者

6月20日(土) 中部基地コース：目で見える基地再編

砂辺地区 嘉手納基地 読谷村役場・補助飛行場 辺野古 ブルービーチ



嘉手納基地内の1基4.8億円もするF-15の格納庫



辺野古海岸の有刺鉄線はカミソリの刃を使用

「安保の見える丘」から嘉手納基地を臨みました。戦闘機F-15の格納庫が15基見えます。1基4.8億円ということです。これも「思いやり予算」です。

6月21日(日) 沖縄戦の始まりと古都首里の攻防

首里第32軍指令壕 嘉数高地 那覇軍港(車中)

朱塗りの美しい姿の世界遺産、首里城。その地下には、壕が掘られ、第32軍司令部が置かれていました。米軍の集中砲火を浴び、城は焼け落ち城壁は吹き飛ばされ、瓦礫と化しました。今はきれいに修復されていますが、...。嘉数高地から普天間基地を臨みました。宜野湾市のど真ん中に位置し周囲には19の小中高・大学があり、世界一危険な基地と言われています。アメリカ国内にはこのような基地はありません！



宜野湾市の真ん中に位置する普天間基地、その中を走る滑走路

お願い：平和行進、平和関連の取組み 他の情報を地連まで FAX:092-947-9193